

令和 6 年度

事業報告

社会福祉法人 野田芽吹会

千葉県野田市下三ヶ尾 8 7 5 - 1

1 理事会・評議員会等の開催について

年月日	会議名	議題・報告事項
令和6年5月23日	決算監査	・令和5年度事業報告について ・令和5年度計算書類について
令和6年6月5日	理事会	・令和5年度事業報告及び決算の承認について ・定時評議員会の招集について
令和6年6月24日	定時評議員会	・令和5年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について ・令和5年度事業報告について
令和7年3月10日	理事会	・令和6年度補正予算について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度収支予算について ・職員就業規則の一部改正について ・評議員会の招集について
令和7年3月25日	評議員会	・令和7年度事業計画について ・令和7年度収支予算について ・職員就業規則の一部改正について

当施設は、第一種社会福祉事業の障害者支援施設の経営（施設入所支援：定員50名、生活介護事業：定員51名）と第二種社会福祉事業の障害福祉サービス事業の経営（短期入所事業（定員6名））の事業を実施しました。平均入所年数が22.64年となり、20年以上入所されている方が22名、40年以上の方が13名となっております。全体の平均年齢は53.2歳となり、65歳以上の利用者が11名、50歳以上が28名と年齢層は依然として高めです。全体の平均障害支援区分は5.88となりました。令和6年度中利用者の入退所がそれぞれ2名ずつありました。また施設内でコロナ感染はありませんでしたが、1月にインフルエンザ、2月に高熱を伴う風邪、3月には胃腸炎が流行し、長期間の静養を余儀なくされ、利用者さんの筋力・体力の低下が懸念されました。この期間に体調を大きく崩され入院治療が必要になった方が複数名いらっしゃいました。

引き続き、高齢化利用者や重度利用者への「介護」と、行動障害やコミュニケーション支援の必要な重度利用者への「支援」の両方への支援が必要です。

1 利用状況

（1）入退所状況：定員50名（令和6年4月から令和7年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	26	26	26	26	26	26	25	26	26	26	26	26
女性	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
合計	49	50	50	50	50	50	49	50	50	50	50	50
						1名退所		1名入所			1名退所	1名入所

（2）利用者の障害支援区分（令和7年3月31日現在 平均）

野田芽吹学園		区分4	区分5	区分6	合計	重度加算
利用者の 障害支援区分	男性利用者	0名	5名	21名	26名	22名
	女性利用者	0名	3名	23名	24名	21名

(3) 短期入所（定員 6 名）利用状況

年度	延べ人数	開所日数（1 日平均）
令和 6 年度総合計	8 8 6 名	3 6 5 日（2. 4 人）
令和 5 年度総合計	7 8 9 名	3 6 6 日（2. 1 人）
令和 4 年度総合計	8 9 0 名	3 6 5 日（2. 4 人）

(4) 日中一時利用状況

委託契約・利用状況 野田市：柏市：流山市

委託市	利用形態	人数	延日数（日）	利用日数
野田他	在宅（レスパイト）	0 名	0	都度
野田	定期利用	2 名	1 1 3	週 2 回
	令和 6 年度合計	2 名	1 1 3	1 日平均 0. 3 人
	令和 5 年度合計	3 名	1 0 2	1 日平均 0. 2 7 人

(5) 入退院状況

性別	年齢	病名	入院期間	日数（日）
男	57	SMA 症候群	R6. 7. 9～7. 31	23
女	62	胆のうがん	R6. 7. 24～R6. 8. 1	16
男	57	SMA 症候群	R6. 8. 6～9. 30	56
男	65	誤嚥性肺炎	R6. 8. 21～9. 9	24
男	65	誤嚥性肺炎	R6. 10. 24～11. 13	21
男	65	誤嚥性肺炎	R6. 12. 4～R7. 1. 17	45
男	47	誤嚥性肺炎	R6. 12. 22～R7. 1. 20	30
女	77	細菌性肺炎	R7. 1. 9～2. 13	36
女	67	肺炎	R7. 1. 10～1. 30	21
女	62	胆のうがん	R7. 1. 22～2. 1	11
男	65	誤嚥性肺炎	R7. 2. 6～継続中	53＋継続中
女	73	細菌性肺炎	R7. 2. 7～2. 26	20

男	47	細菌性肺炎	R7. 2. 19～3. 14	25
女	77	誤嚥性肺炎	R7. 2. 28～3. 25	26
女	69	麻痺性イレウス	R7. 3. 15～4. 4	21
延べ日数				428
延べ人数				15

(6) 帰宅状況

(令和3年度0人) (令和4年度1人) (令和5年度5人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日数	0	1	0	1	4	3	4	3	7	5	3	1	59

※新型コロナウイルスが5類に移行し、1年経過したタイミングで帰宅日数を2泊3日まで緩和しました。以降帰宅が増えました。

2 職員の状況(異動状況を含む)

※()は非常勤数 (単位:人)

職 種		令和6年 4月1日	年度内		令和7年 3月31日	令和7年 4月1日
			退職・異動	採用・任用		
施 設 長		1	1	(1)	1	(1)
事 務 長		(1)	0	0	(1)	(1)
事 務		1	0	0	1	1
看 護 師		1	0	0	1	1
栄 養 士		0	0	0	0	0
調 理		0	0	0	0	0
サ-ビス管理責任者		1	0	0	1	1
生 活 支 援 員		24	3	2	23	24
補助員（パート）		(19)	2	3	(20)	(20)
合 計	全 体	45	5	5	45	46
	管 理 部 門	2（1）	1	(1)	2（1）	1（2）

3 管理業務状況

(1) 健康管理

医療 体制 ・ 通 院 状 況	○嘱託医による毎月1回の診察または相談の実施					
	診療科目	病院名	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
	精神科	岡田病院				
	内科	野田総合病院・新村医院	1 2 5	4 1	3 1	4 1
		瀬戸クリニック・野田病院				
	外科	野田総合病院	8	1	4	4
	整形外科	野田総合病院・しばやま整形外科	5 2	4 9	4 4	2 7
	脳外科	野田総合病院	6	5	7	7
	脳神経内科	野田総合病院	3			
	消化器内科	野田総合病院	1 5	9	1 2	7
	腎内科	野田総合病院	6	5	1 2	8
	呼吸器内科	野田総合病院	1 1	1 0	1 2	2
	循環器内科	野田総合病院	5	2	0	0
	皮膚科	うめさと皮膚科、石井医院	2 3	3 6	3 5	3 9
	眼科	野田総合病院・いちおか眼科	1 4	1 5	7	1 2
	耳鼻咽喉科	野田総合病院	6	0	1	2
	泌尿器科	野田総合病院、こだま泌尿器科	1 7	2 0	2 6	1 5
	歯科	瀬畑歯科	7 5	8 2	10 3	6 3
	婦人科	野田総合病院	2 3	2 2	1 8	1 2
	口腔外科	日大松戸歯科部附属病院	0	0	1	4
	緊急時	夜間救急対応・救急車対応	1 1	3	5	5
	延べ人数		4 0 0	3 0 0	3 1 8	2 4 8
健 康 管 理	○年2回健康診断の実施（令和6年8月9日、令和6年12月24日）					
	○毎月1回、体重測定・隔月血圧測定 前期検便（9月） 後期検便（3月）					
	○インフルエンザ予防接種（令和6年12月26日）					
	○職員対象緊急時の対応研修 都度感染症等職員会議時実施					

(2) 施設整備管理業務

施設設備の修理・工事	内 容
施設設備の保守点検 委託業務	・エレベータ保守点検・汚水処理（ポンプ）・グリストラップ清掃・給水設備維持管理・水質検査業務・消防設備（SP） ・給食設備点検
施設設備の管理業務	・害虫駆除・産業廃棄物・一般廃棄物処理
施設会計業務	・会計事務所委託

4 ボランティアの受入状況

(1) 誕生会ボランティア（毎月保護者会時実施）

野田市社会福祉協議会ボランティアセンターにボランティアを要請しました。

(2) その他のボランティア

令和6年度は「理容ボランティア」と「そば打ちボランティア」の方が来園されました。

また、芽吹まつりでは「柏おやじダンサーズ」と「バルーンアーティスト」に出演依頼をし、来園されました。

5 実習生受入状況

期間	学校名	人数（名）
5月13日～5月24日	埼玉東萌短期大学	2
6月3日～6月13日	彰英保育福祉専門学校	3
6月17日～6月29日	川村学園女子大学	2
7月1日～7月13日	川村学園女子大学	1
7月29日～8月10日	江戸川学園おおたかの森専門学校	2
9月2日～9月14日	埼玉学園大学	2
2月17日～3月1日	共立女子大学	4
2月25日～3月9日	江戸川学園おおたかの森専門学校	1
3月18日～3月29日	越谷保育専門学校	2
合計		19

この他、社会福祉士実習生を3名受け入れています。（実習期間各1か月）

6 事業実施状況

(1) 施設運営状況

①個別支援計画の作成・管理、支援マニュアル

個別支援計画の 作成・管理	福祉系資格取得者もしくは副主任以上の職員が、担当支援員からも意見を聞きながら、個別支援計画書案を作成しました。サービス管理責任者が内容を確認し正式な案となり、再度各担当に内容を確認後、ご家族・ご本人に説明しご了解をいただき、半年に1回見直し、前期・後期の計画書を作成しました。合わせて重度加算対象者には支援計画シートと手順書作成しました。
支援マニュアル	統一した支援を行うには、マニュアルを作成し実行することが重要となります。作成するにあたっては会議などで利用者理解を深める一方、内容の更新にも努め、今の課題や足りないものは何なのかを支援員にわかりやすく伝え、誰もが取り組める支援マニュアルづくりをこれからも行います。日中活動の作業提供方法などでも、支援方法の統一化を図るため支援手順書を作成し、統計・記録を残しながら成果を上げています。

②苦情解決委員会活動

第三者委員の 相談	2か月に1度の虐待防止委員会を開催。施設内で起こった問題や課題を第三者委員と共有し、助言を頂きながら改題解決のための方法を検討。職員に周知することが出来ました。第三者委員からは、福祉の経験者としての視点や、利用者の代弁者として様々な意見を頂き、権利擁護の視点で支援の質を向上させられるよう努めております。 利用者との面談は一部再開。また職員との面談を1月から開始しました。
苦情相談窓口の 設置	随時相談を受け付けています。苦情受付担当者（支援課長）、苦情解決責任者（施設長）が常時対応しました。日々の利用者さんの声から今の課題を模索しました。

③支援関係会議の開催

朝会 (毎朝開催)	支援員・補助員が参加し、前日からの利用者さんの様子や注意事項の確認を行いながら情報共有し、事故・トラブルがない日課を過ごせるよう配慮しました。
職員会議・補助員会議の開催	月間予定の周知の他、権利擁護や虐待防止、トラブル映像を見ながらトラブルの共有や対策の検討、終末期支援や感染症対応など看護師から研修するなど、様々な施設内研修を行いました。
男性棟・女性棟 会議の開催	各棟での支援統一のための課題・問題の抽出、支援内容の変更・訂正を中心に話し合いを行いました。全員参加が難しいため、書面参加で事前に意見を聞きくことで意見の交換を行いました。また決定されたことは各棟内で共有し、統一した支援ができるように努めました。
個別支援会議	個別支援計画作成の際に、本人や家族の意見を聞き、計画案を検討しています。会議では本人にも参加していただき、計画の見直し以外にも、様子の変化などがあった場合は、随時支援検討を行っています。
管理者・責任者 会議	管理者会議では、行政や福祉協会の情報や、法制度の変更等の情報共有と各事業所の近況報告を行いました。 責任者会議では、主に施設内で支援面・環境面の問題点や課題などのピックアップし、改善策の検討を行いました。
主任会議	現場の声を集約し、現場の中で支援方針を決めることで主体的に動くことが可能になり、スピーディーな対応が出来るようにしました。

④施設内研修の開催

月 日	内容	講師	参加者
4月25・28日	法人理念・倫理綱領・行動規範確認 リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤
4月25日	権利擁護の観点から記録の取り方・ 大切さを学ぶ	責任者	職員
5月23・24日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤

6月1・2・5日 (3日間)	新人研修	施設長・課長・ 看護師	新人職員
6月23・24日	虐待防止研修(事例共有)	施設長	職員・非常勤
	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	
6月中	アンガーマネジメント(動画共有)	支援課長	職員
7月25・26日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤
8月29・30日	災害対策研修(災害事例共有)	施設長	職員・非常勤
	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	
8月29日	権利擁護研修(グループワーク)	きりんの会	職員
9月24・25日	終末期支援について	看護師	職員・非常勤
	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	
10月24・25日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤
10月24日	感染症研修(座学・体験)	看護師	職員
11月28・29日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤
12月26・27日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤
1月23・24日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤
2月27・28日	困った時の立ち直り方	施設長	職員・非常勤
	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	
3月28・29日	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援課長	職員・非常勤
3月28・29日	BCP研修	施設長	職員・非常勤
	リスクマネジメント研修(動画共有)	支援員	

⑤施設外研修

- ・強度行動障害基礎研修(基礎研修) 2名
- ・福祉協会 新人研修(中途含む) 2名
- 非常勤支援職員研修 2名
- ・日本知的障害者福祉協会
- 「知的障害を理解するための基礎講座」 1名

・リスクマネージャー研修	1名
・関東地区知的障害福祉関係職員研究大会（長野県）	2名
・全国知的障害福祉関係職員研究大会（福井県）	2名
・障害者支援施設部会全国大会（広島県）	2名
・虐待防止、権利擁護研修	1名
・社会福祉士実習指導者研修	1名

（２）委員会活動

・「行事委員会」は誕生会の時に社協のボランティアセンターに外部ボランティアを依頼し、誕生会を盛り上げていただきました。また、「サンスマイル」や「おひさまといっしょに」などの参加企画をしました。

・「防災委員会」は、令和６年度は地震を想定した訓練を取り入れました。災害時の備蓄品や利用者さんの災害時持ち出しセットの再確認を行いました。

また、例年通り AED・心肺蘇生法の講習も実施しました。

・「広報委員会」は年３回定期的に広報紙の発行とそれ以外の月は保護者向けの学園通信の発行を行いました。

「学園通信」はご家族に学園の様子を発信するツールとし、広報紙は施設での行事報告を中心に発信していきました。

・「物品管理委員会」はおむつや衛生用品の補充や管理などを行いました。

令和６年度は使用している衛生用品の見直しと管理場所の整理整頓を行い、質を下げずにコストを下げる工夫を行いました。

感染対策関連物品については、一定量の確保を維持できるように在庫の確認をこまめに行い、「早め・多めに在庫確保」という点に配慮しました。

・「環境委員会」は環境報告を基に修繕・修理を迅速に行いました。

令和６年度も昨年度に引き続き業者が入っての修理する項目が多くありました。

・「健康・栄養委員会」は利用者の健康管理を支援・医務・栄養の観点から分析し、各棟責任者や担当と連携して対応しました。特に集団感染後による体重減少と体力の復調と高齢利用者さんの体調管理に配慮しました。

感染対策については手指消毒と、職員のガウンやマスク着用の徹底を継続しました。

- ・「給食委員会」は利用者にも参加してもらい、希望メニューや手作りおやつを検討しました。
- ・特別委員会の「きりんの会」は権利擁護委員会として職員への啓蒙活動を中心に活動しました。

（３）居室活動

個別支援計画に添った外出を実施しました。コロナ５類移行から約２年が経過し、外出の頻度は増えています。昼食やおやつ等の外出や、半日を通じて買い物などを楽しまれています。

（４）日中（作業班）活動

利用者の能力に合わせた４班編成で活動しています。内職や創作活動・趣味活動の他、季節に応じたイベントなどを各班でそれぞれの利用者さんに合った形で趣向を凝らし、企画・実施しています。

（５）地域生活移行のための試み

①クラブ活動

休日や誕生会でカラオケを実施しました。皆さん十八番の曲を披露して下さっています。樽太鼓は、叩ける支援員を増やせるよう練習の機会を作っています。その反面、利用者さんは、新に入所された方は重度の方が多く、メンバーに加われそうな方が、なかなかいない状況です。

②地域生活体験ルーム（多目的棟内）

緊急短期の利用者が利用出来るように準備をしています。令和６年度の利用実績はありませんでした。

今後は災害時にも利用できるように整備を進めていきます。

（６）地域活動

参加行事・施設行事等

月 日	行事名	内容
6月 9日 (日)	春まつり	初開催 保護者会総会に合わせて開催
6月15日 (土)	おひさまといっしょに	参加 (関宿総合体育館)
7月30日 (火)	サンスマイル	参加 (野田市文化会館)
8月12日 (月)	男性棟夏季行事	施設内で、食事会・花火
14日 (水)	女性棟夏季行事	施設内で、食事会・模擬店
9月11日 (水)	そば打ちボランティア	野田式八会様来園
9月 4日 (水)	日帰り旅行(食事会)	徳寿庵 ランチコース料理
10月 9日 (水)		
10月27日 (日)	芽吹まつり	法人主催のまつりを開催
11月12日 (火)	日帰り旅行	成田ゆめ牧場
19日 (火)		
12月30日 (月)	女性棟忘年会	クリアビューホテル食事会
1月 9日 (木)	新年会(感染症拡大で中止)	利用者・職員で新年を祝う
2月 4日 (火)	豆まき	集会室に集まって豆まき

(7) 利用者家庭との交流

コロナ5類移行約2年が経過し、帰宅の期間の制限を緩和したことで、帰宅が増えました。利用者の重度化やご家族の高齢化などもあって、帰宅できるのは一部の方達です。また、春まつりを保護者会の総会に合わせて開催し、コロナ前に行なっていた職員・家族・利用者・役員様の交流の機会を設け実施しました。

(8) 特別活動

①きりんの会活動(人権擁護・人権侵害防止委員会)

- ・虐待防止マネージャー1名と主任2名、新人2名、合計4名の支援員を委員に任命し、人権に配慮する支援環境作りに向けた目標を設定し、設定した目標の振り返りを参考にして、次の目標に繋げていきました。

7 事務環境整備・施設環境整備

(1) 事務環境整備

①事務環境状況

- ・引き続き、事業所ごとの事務処理・会計処理を進めることで収支の明確化に努めました。
- ・パソコンは、リース期限を迎えたため入れ替えを行いました。セキュリティソフトの交換も行いました。

(2) 施設環境整備（社会福祉充実計画）

事業名：該当事業なし

- ・7年度と8年度にかけ男性棟個室化工事を実施します。

8 補助事業の状況

令和6年度は該当事業なし

9 借入金の状況

借入金なし

10 事故報告

(1) 怪我の報告 3件

- ・転倒による怪我 3件

11 その他

(1) 感染症報告

①インフルエンザ感染

12月28日職員1名が、家族内でインフルエンザA型に感染。その後1月4日から施設内で感染が広がり、利用者25名、職員6名が感染。利用者2名が肺炎で入院されました。

令和 6 年度 共同生活援助 事業報告

1 基本方針に基づき

- (1) ご利用者が地域での生活が送れるように、地域との共生を図り、安心して暮らせる場を提供しました。
- (2) ご利用者の生活支援（食事提供、健康管理、金銭管理）や日中活動支援（一般就労・通所・余暇支援）を行い、ご利用者の自己選択、自己決定の機会を増やしながら自立した生活が送れるように支援しました。
- (3) 家庭的なホームをご利用者・職員・世話人と共に作り、ご利用者がホーム生活を楽しめるように支援しました。

2 各ホームの定員

【芽ぐみ】男性定員 4 名 【陽の芽】男性定員 4 名 【希の芽】女性定員 7 名

ホーム	入退所状況	性別	年齢	区分	備考
芽ぐみ	継続	男	34 歳	4	一般就労者
	継続	男	37 歳	4	一般就労者
	継続	男	56 歳	5	通所事業所利用者
陽の芽	入居（R6.4）	男	22 歳	4	通所事業所利用者
	継続	男	49 歳	4	通所事業所利用者
	継続	男	58 歳	5	通所事業所利用者
	継続	男	60 歳	4	通所事業所利用者
希の芽	入居（R6.4）	女	19 歳	5	生活介護利用者
	継続	女	33 歳	4	通所事業所利用者
	継続	女	40 歳	4	通所事業所利用者
	継続	女	47 歳	4	通所事業所利用者
	継続	女	52 歳	5	通所事業所利用者
	継続	女	58 歳	6	通所事業所利用者
	継続	女	69 歳	5	通所事業所利用者
平均年齢は男性 45.1 歳、女性 45.4 歳。平均区分は 4.5					

3 開所日数、定員、利用日数

ホーム名	開所日数	利用定員	延べ利用日数
芽ぐみ	3 6 6 日	4 名	1 , 0 9 5 日
陽の芽	3 6 6 日	4 名	1 , 4 6 0 日
希の芽	3 6 5 日	7 名	2 , 4 5 0 日

4 職員等の人員

- ・ 管理者 1 名【常勤兼務】
- ・ サービス管理責任者 1 名【常勤兼務】
- ・ 看護職員 1 名【常勤専従】
- ・ 生活支援員 2 名【常勤専従 1 名・常勤兼務 1 名】
- ・ 世話人 3 2 名【非常勤専従】

5 令和 6 年度の評価

令和 6 年度の報酬改定により、基本報酬部分の見直しで収入減が見込まれましたが、各種加算の取得や令和 6 年 4 月から男性 1 名、女性 1 名、計 2 名の入居があったため、当初見込まれていたほどの収入減はありませんでした。

また、新しい入居者は年齢が若い方なので、先輩ホーム利用者がお兄さん、お姉さん役になり、ホーム生活を楽しんでいる様子がありました。現在は男性 1 名の空きが生じております。

平均年齢は若干下がり、男性 4 5 . 1 歳、女性 4 5 . 4 歳です。平均障害者支援区分は 4 . 5 と上がり、認定調査があるごとに高くなりつつあります。

6 日課及び勤務体制

【平日】

時間	日課	勤務者
6時00分	夜間支援	支援員
	起床支援	
7時00分	朝食支援	世話人
8時00分	送り出し	
9時00分	掃除・洗濯	
10時00分	片付け	
11時00分		世話人
12時00分		
13時00分		
14時00分		
15時00分	帰宅支援	世話人
16時00分	掃除・洗濯	
17時00分	夕食支援	
18時00分	片付け	
19時00分	入浴支援	支援員
20時00分	洗濯支援	
21時00分	就寝支援	
22時00分	夜間支援	
翌7時	(宿直)	

【土・日・祝日】

時間	日課	勤務者
6時00分	夜間支援	支援員
7時00分	起床支援	
8時00分	朝食支援	世話人
9時00分	掃除・洗濯	
10時00分	片付け	
11時00分	余暇支援 その他	
12時00分		世話人
13時00分	掃除・洗濯	
14時00分	片付け	
15時00分	余暇支援 その他	
16時00分	入浴支援	世話人
17時00分	洗濯支援	
18時00分	夕食支援	
19時00分	片付け	
20時00分	余暇支援	支援員
21時00分	就寝支援	
22時00分	夜間支援	
翌8時	(宿直)	

令和6年度 相談支援事業所 サポート芽吹 事業報告

サポート芽吹では、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む為に福祉サービス等が利用できるような計画相談を作成し、特性に合ったサービスが提供されているか他に課題はないかと定期的なモニタリングを行い、関係機関や専門機関と連携し支援を行いました。

1、相談支援実績（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（1）計画相談・モニタリング件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規		1											1
計画作成	2	2	5	2	3	10	1	3	1	1	3	12	45
モニタリング	11	15	23	9	10	25	9	13	23	17	10	25	190
合計	13	18	28	11	13	35	10	16	24	18	13	37	236

令和5年度実績

計画相談：新規1 計画作成：50 モニタリング：201 合計：252

（2）障害児計画相談・モニタリング件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規			4	1	1	1		5		2		2	16
計画作成	3	8	2	2	9	4	4	4	6	7	6	12	67
モニタリング	10	7	6	8	4	10	5	10	5	9	11	4	89
合計	13	15	12	11	14	15	9	19	11	18	17	18	172

令和5年度実績

障害児計画相談：新規17 計画作成：58 モニタリング：95 合計：170

2、野田市相談支援事業委託業務報告書（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（1）利用者の障がい種別

（単位：件）

	合計	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他
障がい者	79	40		37	2			
障がい児	72	3		69				
合 計	151	43		106	2			

（2）支援方法

	計	電話	来所	訪問	その他
件 数	151	85		66	-

（3）支援内容

内 容	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消 情緒安定	保育・教育	家族関係 人間関係
件 数	28	14	24	46	27	22
内 容	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他
件 数	19	55	1		8	

3、相談支援業務の主な内容

- ・精神的不安からくる相談
- ・家族や事業所等の関係に関する相談
- ・申請等の手続きに関する相談・代行
- ・生活上の懸案事項支援

令和 6 年度 多機能型事業所 芽ばえ 事業報告

「芽ばえ」は、「自立訓練（生活訓練）事業」及び「就労継続支援 B 型事業」を実施する事業所として、令和元年 10 月 1 日に新規開所しました。

1 開所日数、利用定員、契約者数及び利用者数

（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）

事業名	開所日数	利用定員	契約者数	延べ利用者数
自立訓練 （生活訓練）	244 日	6 人	6 人	836 人
就労継続 支援 B 型	244 日	14 人	10 人	2,147 人
合計	488 日	20 人	16 人	2,983 人

2 一日のスケジュール

下記のスケジュールに沿い利用者の個々にあった支援を行ってまいりました。

8 : 00	9 : 15 ～ 9 : 30	9 : 30 ～ 9 : 45	9 : 45 ～ 10 : 45	10 : 45 ～ 11 : 00	11 : 00 ～ 12 : 00	12 : 00 ～ 13 : 00	13 : 00 ～ 14 : 00	14 : 00 ～ 14 : 15	14 : 15 ～ 15 : 30	15 : 30
送 迎	朝礼 体操	清 掃	作業	休憩	作業	昼食 休憩	散歩 作業	休憩	作業	終了 送迎

3 利用者の送迎

ご希望により、無料で送迎を行いました。

4 支払工賃

内職作業を実施し、利用者 1 人当たり週 5 日利用している方の平均月額工賃は、11,485 円でした。

5 健康管理

医療法人社団啓心会岡田病院と協力医療機関契約を締結するとともに同法人に勤務する医師と嘱託医契約を締結し、利用者及び職員の健康管理に努めてまいりました。

利用者及び職員共に、事故、怪我、などの発症はありませんでした。

5 サービスの質の向上

- (1) 福祉サービスの内容や施設的环境など利用者等からの様々な要望及び意見に対して、第三者委員や苦情受付担当者による相談・援助を行ない、適切な解決に努めました。
- (2) 虐待防止、身体拘束の適正化、ハラスメント対策、感染症発生及び蔓延防止の研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップを図りました。

6 職員体制

下記の職員体制で利用者の支援を行ってまいりました。

職 名	勤務体制	備考
管理者（男）	非常勤（2日／週）	
サービス管理責任者（女）	常勤（5日／週）	介護福祉士
生活支援員（女）	非常勤（5日／週）	介護福祉士
職業指導員（女）	常勤（5日／週）	保育士
職業指導員（女）	常勤（5日／週）	保育士
職業指導員（男）	非常勤（4日／週）	